

昭和35年（1960）創業

～

昭和40（1965）ごろまで

コンプレッション成形機 → 手動射出成形機
にてスタート



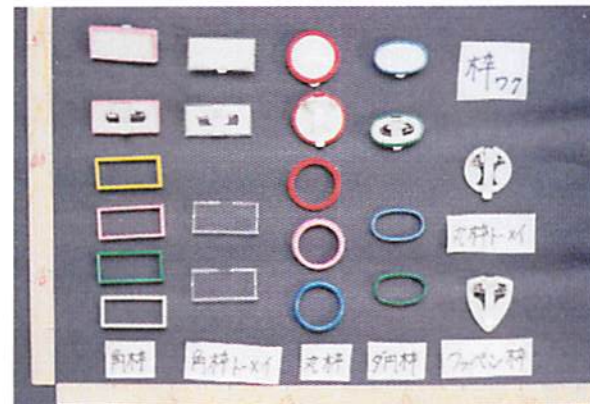
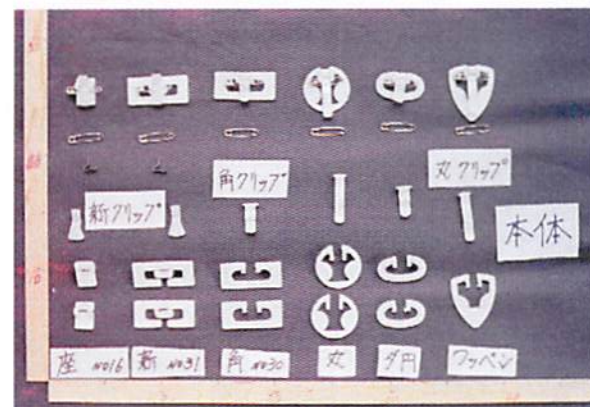
製造品目（熱硬化性樹脂）
配線器具・ツマミ・スイッチ
機械部品各種プーリー等



機械の操作（型開き・型締め）
を人間の手と足を使い動かした

→ 半自動成形機

取出しロボットが無い為



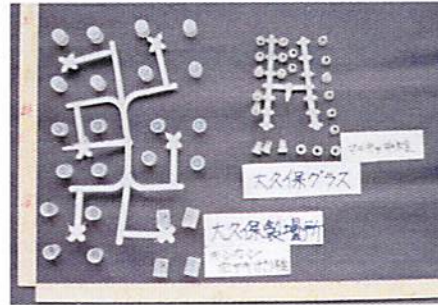
昭和41年 (1966)

~

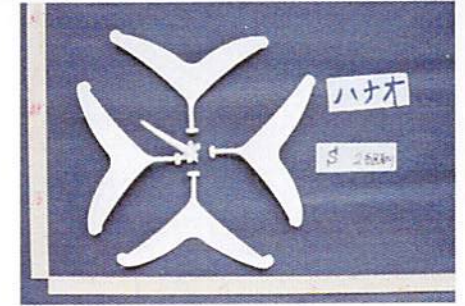
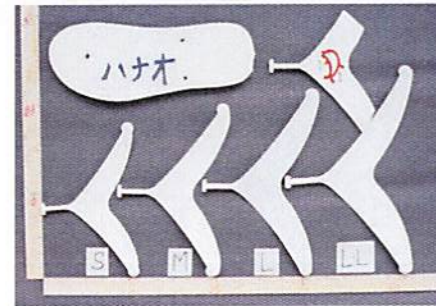
昭和54 (1979) ごろまで

国内

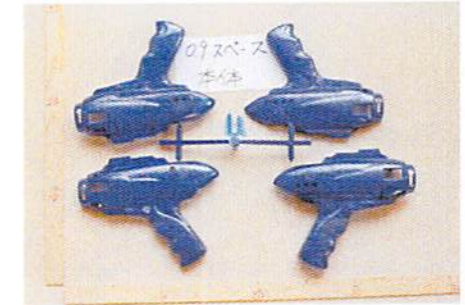
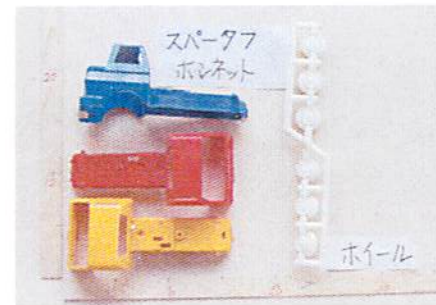
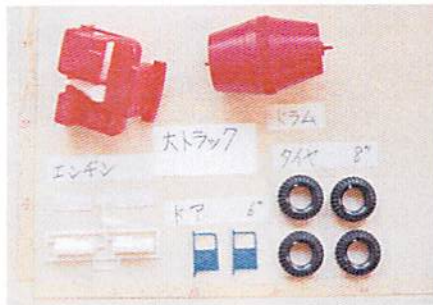
キンカン中栓



※先代が日本で初めてプラスチック製を採用



輸出向け (おもちゃ)

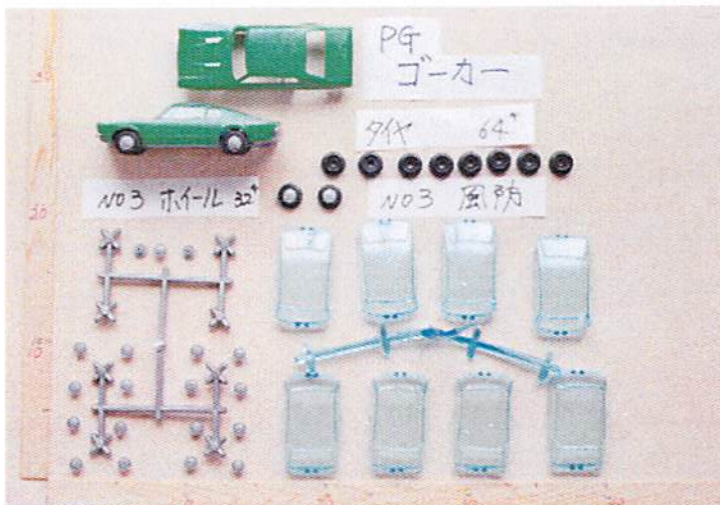
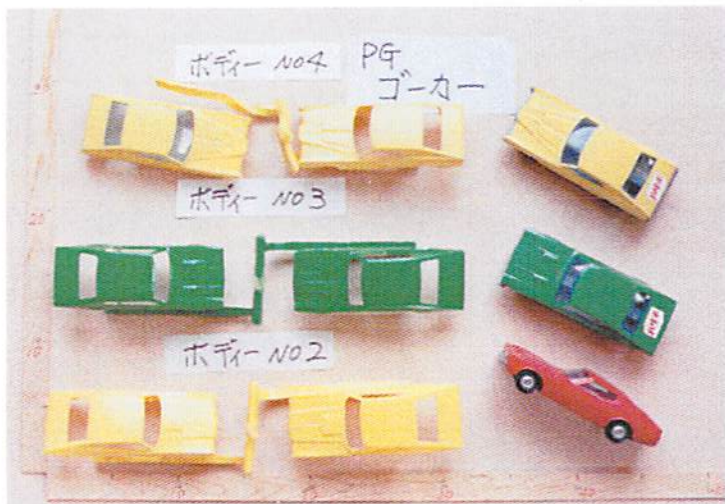
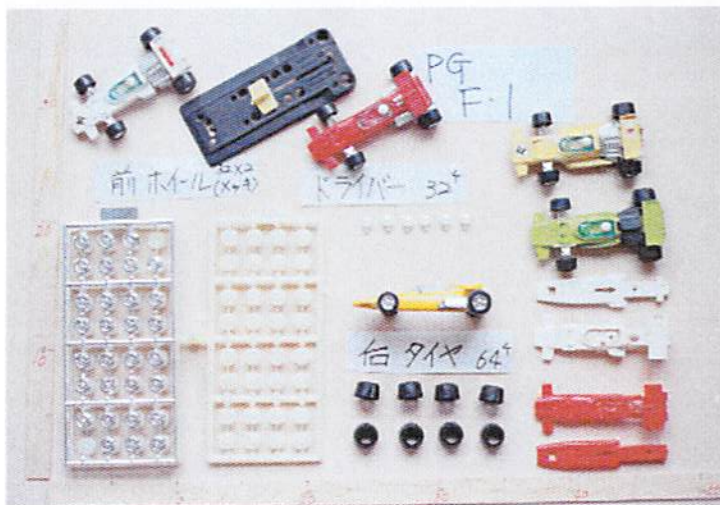
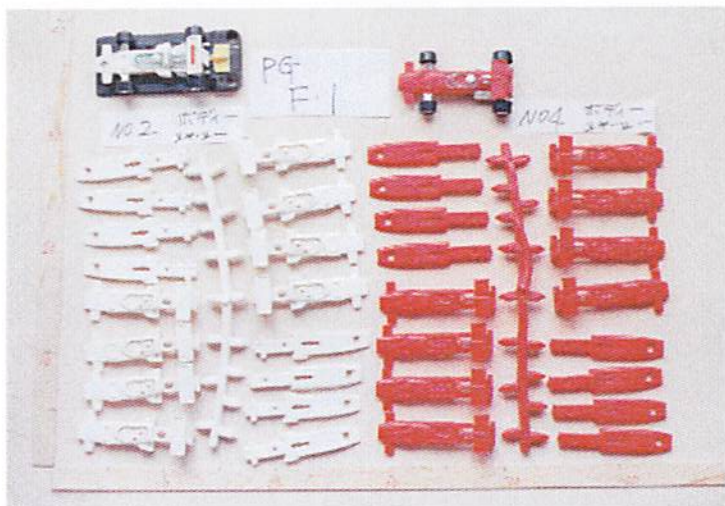


昭和41年 (1966)

～

昭和54 (1979) ごろまで

昭和44年 (1969) ～ 昭和46年 (1971)



「アメリカ」

洗剤メーカー

「P&G」

プロクター&
ギャンブル社

景品用に3年間

最高ロット

7,000,000個 (700万個)

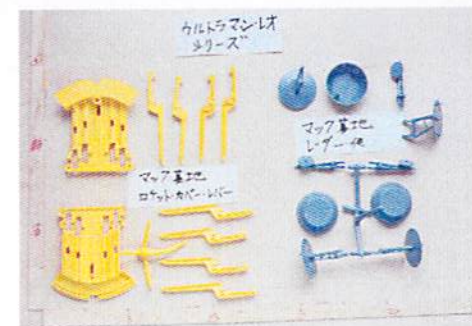
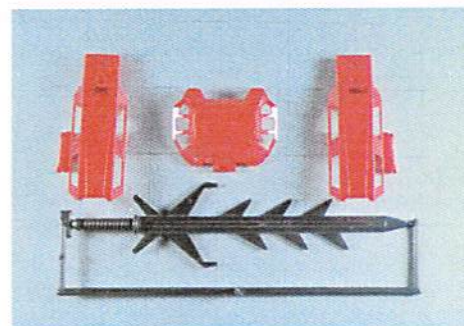
24時間成形

昭和55年 (1980)

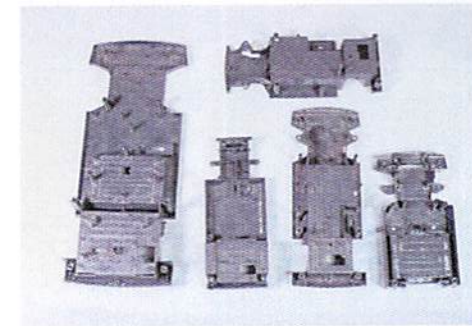
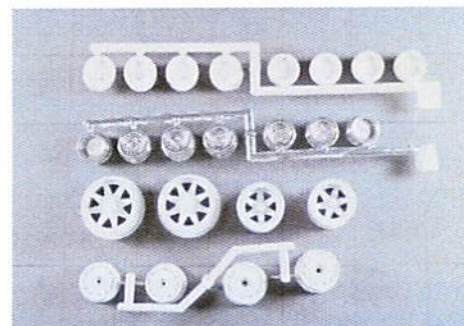
～

昭和62 (1986) ごろまで

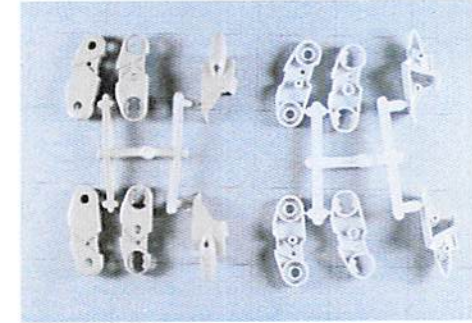
国内用 各種キャラクター商品



輸出用 各種ラジコン商品



輸出用 各種可変ロボット商品

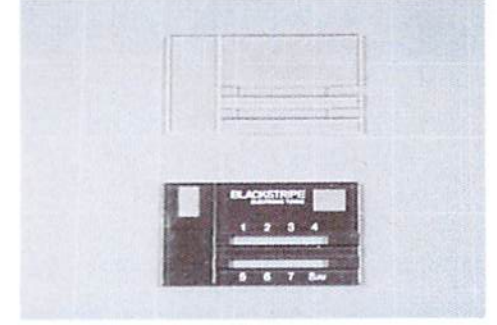
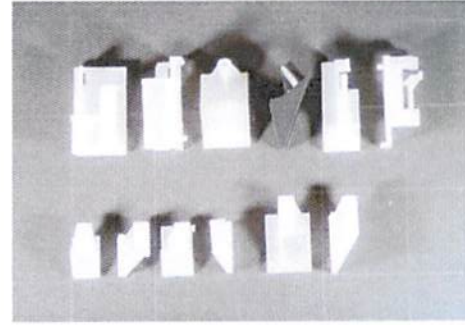
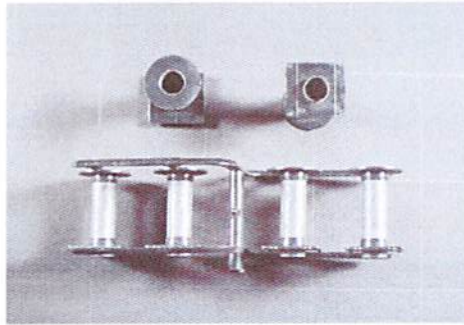
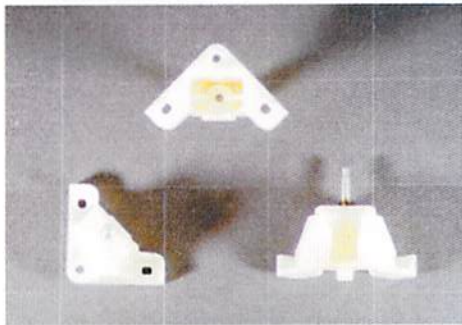
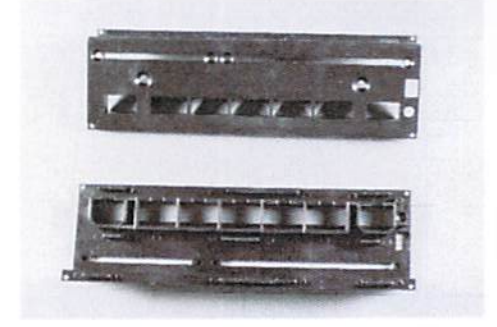
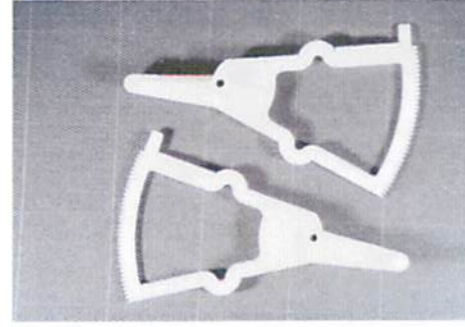
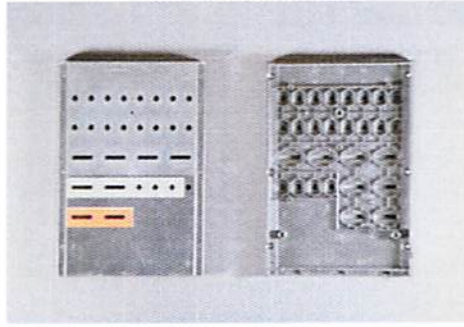
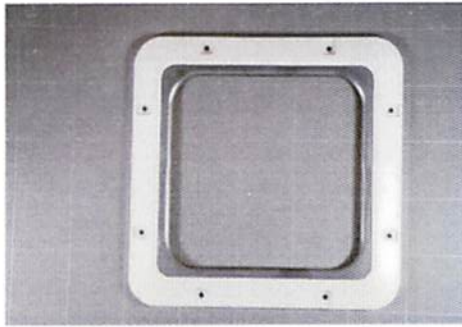
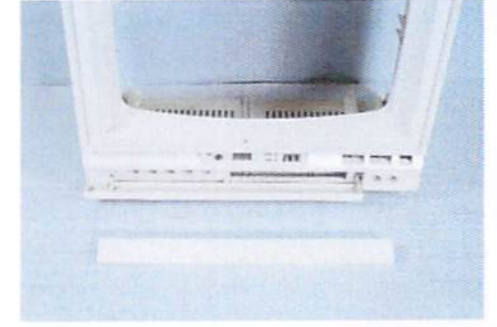
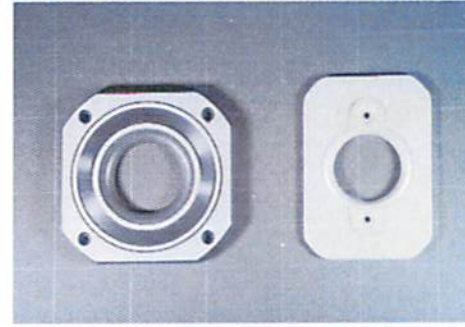
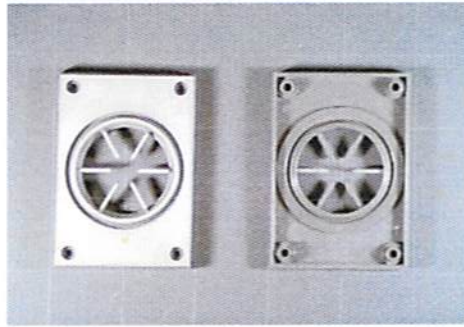


昭和58年（1983）

～

平成4（1992）ごろまで

※玩具、一辺倒から家電部品を目指す→ 初めの2年間は家電部門は赤字でしたが
玩具が激減した時、窮地を救った。



昭和61年（1986） ～ 平成4（1992）

G5によるプラザ合意により
 円高が進み「オモチャ」の
 仕事は国内より消えて
 海外に移動した。

家電も国内より消えた



1987年に
 異業種交流グループ
 「すみだ87」に参加

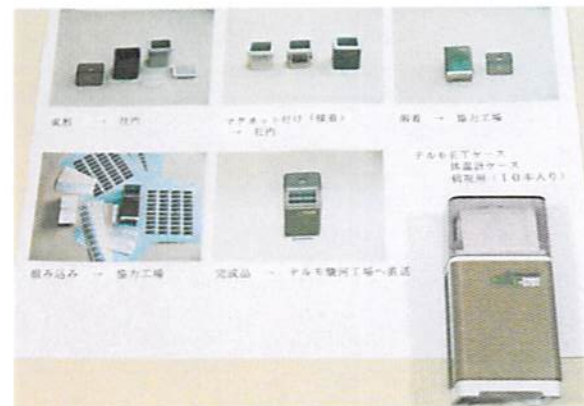


プラスチック成形屋
 として他社との
 差別化を探す為に参加

↓
 仕事を探す為会社案内を作成
 （今までの製品を写真撮り）

ネガが残っていたので
 今回の資料を作る事が出来た

新しい得意先を見つける



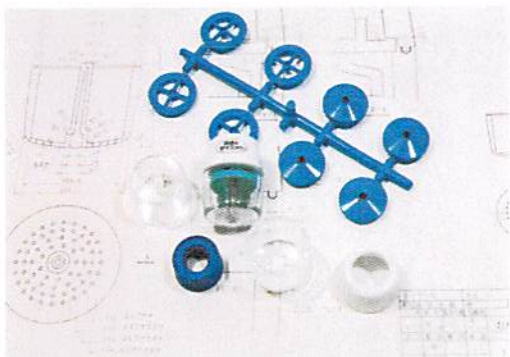
昭和62年（1987）

～

平成14（2002）ごろ

新しい分野として 得意先と一緒に
企画→開発→設計→量産までを
手がける。

中国より同じような
製品が入って来るよう
になり、新しく製品を
作らなくなった。



平成7年 (1995)

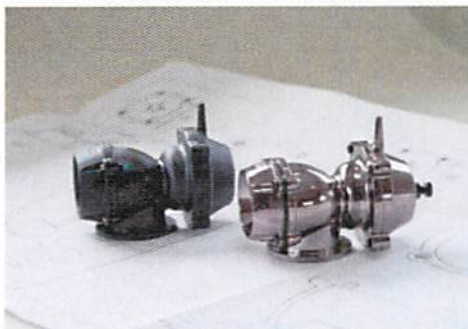
～ 平成14 (2002) ごろ

得意先と一緒に 企画→開発→設計→量産までを手がける。

デザインの勉強が役立つ

→アルミ製から耐熱プラスチックへ

→プラからアルミダイキャストへ



H K S ブローオフバルブ

谷田部テストコースで実車テスト

